

議員定数等検討特別委員会会議録（令和7年12月23日）

出席委員 高橋委員 藤田委員 吉森委員 安達委員 高川委員 谷崎委員
水橋委員 大浦委員 竹原委員 青山委員 尾崎委員 原委員
岩城委員 上田委員 古沢委員

欠席委員 なし

職務のため出席した事務局職員 石井局長 佐藤係長

午後1時11分開会

石井局長 ただいまから、議員定数等検討特別委員会を始めさせていただきます。

正副委員長の互選のため、委員会条例第9条第2項の規定により、年長委員の上田委員に委員長の職務をお願いいたします。

上田臨時委員長 ただいま紹介いただきました上田昌孝です。

しばらく委員長の職務を行いますので、よろしくをお願いいたします。

委員会開催前にご報告いたします。

報道各社から傍聴及び撮影の許可願が提出されておりますので、これを許可いたします。

ただいまから、議員定数等検討特別委員会を開会いたします。

本日の議事日程は、お手元に配付してあるとおりです。

日程第1、会議録署名委員の指名をいたします。

高橋 悟委員、藤田紀子委員をお願いいたします。

日程第2、委員長及び副委員長の互選についてです。

委員会の正副委員長は、委員会条例第8条及び第9条の規定により、委員会において互選することとなっております。

このことについて、いかがいたしましょうか。

古沢委員。

古沢委員 委員長には、岩城委員を推薦したいと思います。

指名推選によっていただければと思っております。お諮りください。

上田臨時委員長 ただいまの古沢議員からの発言について、ご意見ございますか。

青山委員。

青山委員 私、青山幸生が立候補をさせていただきます。委員長として立候補させていただければと思います。

上田臨時委員長 古沢委員の推薦と、青山委員が自らやるという宣言であります。

いかが取り計らいましょうか。

岩城委員 私の立場といたしましては、私は自薦したわけでもないので、もしやるなら、やっていただきたいと思っております。やるならという言い方はあれだけど。

上田臨時委員長 今、古沢委員の推薦による岩城委員からの発言でございます。

皆さん、いかが取り扱いますでしょうか。

異論がなければ、青山委員ということでよろしいですか。

(異議なし)

上田臨時委員長 異論がないようですので、青山委員に決定いたしました。この後は委員長と交代させていただきます。ありがとうございました。

青山委員長 私でいいですか。シナリオが変わってきていますからね。シナリオないんですかね。

皆様、ただいま自ら手を挙げさせていただいて、当選させていただきました青山幸生でございます。よくよくこの時間帯ずっと考えておりました、25年後の四半世紀後を例えれば語り継ぐ上で、この議会の定数検討等を考えて伝承できるものと考えたときに一番私がふさわしいのではないかなというふうに思っております。

25年後の四半世紀の後、やっぱり今の子どもたちにどういったことが行われたかというのを口頭で言うのは、先輩はもちろん長生きされるので残っていらっしゃるとは思いますけれども、その責任を持って、今からやっぱりこの議論をしっかりやっていきたいという思いで立候補させていただきました、皆様に当選させていただいたというものでありますので、内容には議運でも諮られたとおり、いわゆる定数、そしてそれに伴う議員報酬、そして10年ほど前からつくられた議会の基本条例、そして倫理条例にある種時代に伴うものに変えていくということでもありますので、そういったことを含めて文章もしっかり変えていきたいなという、ちょっと重たい役でありますけれども、決意を持って手を挙げさせていただいたので、議員各位には賛同いただきますことをよろしく願いいたします。

以上であります。

そうしましたら、副委員長の選任を諮りたいと思います。副委員長の互選に関しては、

皆さん、いかがいたしましょうか。

竹原委員 立候補されたい方がいらっしゃれば、優先でと思います。

青山委員長 同じ熱を持ってやっていただける方が、手を挙げていただければ非常に助かります。

安達委員 私、安達ですが、副委員長に立候補したいと思います。よろしく願いいたします。

青山委員長 今、安達委員から立候補の話がございました。

ほかの委員さんの中で、ご意見あればお願いいたします。我こそがという方がいらっしゃれば。

岩城委員 他薦よりも自薦が強いね。

青山委員長 決意を持ってこれを望んでおりますので、よろしいでしょうか。

(異議なし)

青山委員長 そうしましたら、副委員長に安達委員とすることに決定いたしました。

そうしましたら、副委員長に安達委員が決定されましたので、自席にて就任のご挨拶をお願いいたします。

安達副委員長 今ほどは皆様のご賛同をいただきまして、どうもありがとうございます。

青山委員長と同じ思いであります。今後、やっぱり議員定数削減等、特別委員会はいろんな意味でちょっと重たい話ではありますが、思うところは多分共通できると思いますので、また一生懸命旗差してやりたいと思いますので、いろいろとよろしくお願い致します。

青山委員長 それでは、確認いたします。

委員長を私青山、そして副委員長を安達委員とし、この後の本会議において発表することといたします。

以上で議員定数等検討特別委員会を終了いたします。

ありがとうございました。

午後 1 時20分閉会